

河川史研究倶楽部が栗橋宿へ

フォトアルバム

平成25年2月28日(木)



02 駅前のバス停はなぜか古河市 あれここは久喜市のはず？



01 河川史研究倶楽部初の巡検で JR 栗橋駅に到着



04 静御前墓所に到着 お墓らしきものが彼方此方に どれが本物？



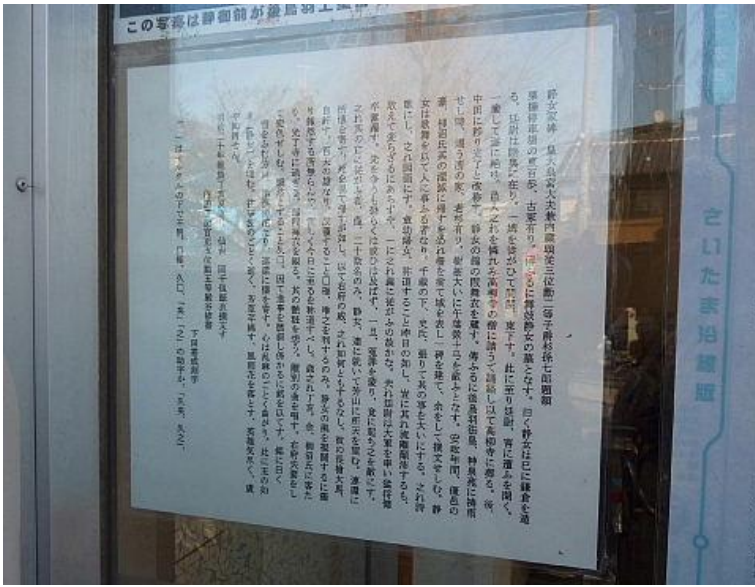
03 駅前のモニュメントから駅舎を望む 意外と前衛的でセンスがいい



06 静女の顔をアップ 当時の美人ってこんな顔立ちなんだ



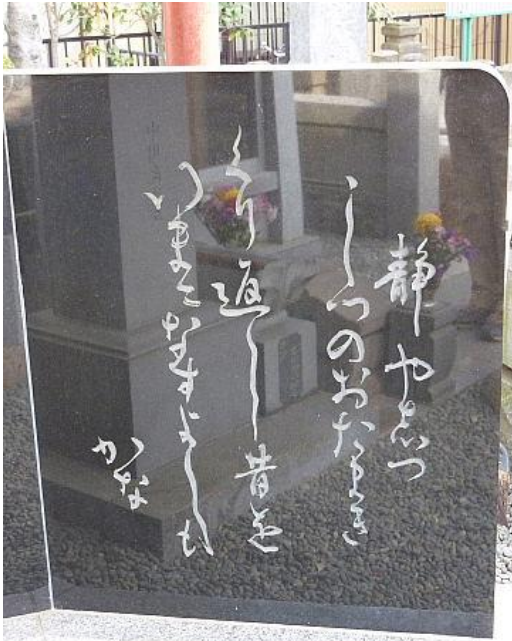
05 静御前 750 年祭記念塔 町おこしの起爆剤かも



08 解説文発見！ 古文調でなく現代語訳がほしいね



07 静女塚碑、漢文体でチンプンカンプン 誰か読んでみてよ



10 頼朝の前で謡い舞ったと伝える静女の名言
「静や志つしつのおたまきくり返し昔をいまになすよしもかな」



09 元禄期頃の坐泉の詠「舞ふ蝶乃果てや夢みるつか能(の)蔭」



12 静が1人ぼっちでは可哀想と傍らに義経招魂碑が建っていた



11 静女の墓 中川飛騨守忠英が静女の事蹟を残すために享和3年に建てたと伝わる



14 栗橋郷土史研究会による説明 総勢6人で応対して下さいました 感謝!



13 静女の墓（左のガラス越し）とレプリカの墓（右）
大切に保管されています



16 鎌倉古道のL字点 民家の土塁のような天辺が往時の道路高とのこと



15 元の栗橋駅舎 今は民営タクシー会社車庫として再利用



18 大池（宝治戸池）を望む



17 このあたりでは3mも高いよ！ ずいぶん削り取ったものだ



20 房川関所番士4家（加藤・足立・富田・島田）が居並んだ場所跡
同規模の屋敷跡で明治に至るまで世襲を勤めたという



19 左は利根川土手へ まずは栗橋宿内への道を進む



22 同解説板 説明文にも意義あるも大切に残してほしい



21 関所番士屋敷跡の標識 朽木的でもあるだけ立派



25 貞観時代に慈覚大師が創建したと伝える台密修練の道場・経蔵院
本尊の地藏菩薩は琴柱が京都嵯峨野から静の護持仏を持ち帰り
ここに供養したという



23 小高い丘の上の大辨財天

特段の説明なく素通り

24 道路上の汚水蓋 八坂社の
御神輿担ぎ風景





27 房川渡しと関所の説明板 入り鉄砲に出女の厳しい取り調べが想像される



26 利根川堤防拡張のため立ち退きになった民家跡



29 利根川堤防上からの眺め 左前方が利根川 右方面が渡良瀬川



28 栗橋関所跡碑 揮筆は徳川家達公 大正13年建立



31

栗橋関所

房川渡跡プレート



32

判明当時の新聞記事



30 房川渡しの位置を特定したとして堤内にプレートを設置 栗橋郷土史研究会の実績だという



34 栗橋宿鎮守 八坂神社の本殿階段をのぼる



33 大正9年の鉄橋基礎杭を撤去中 設置には複数年を要したが撤去は数か月で完了とか



36 狛犬ならぬ阿吽の鯉が参道の左右に鎮座



35 氏子代表吉岡氏のお話を聞く



38 御輿蔵で氏子代表から神社や神輿の詳しい説明を聞く



37 泥亀の石碑 鯉と亀とで御輿を守った伝承を残す

40 ついでに缶コーヒーも
お持ちください



41 アレッ！ 中にあんこが入って
いるよ どうりでおいしい筈だ

39 お昼間近 お腹がすいたでしょう
小豆入りのおにぎりはいかがですか



43 堤防拡張のため解体された民家跡 宿通りが消える無残な姿は
拡大する一方だという



42 御神輿にあわせた法螺貝の演出 素人では容易に
音色を出せないという



45 宿通りの改装民家と石蔵 新旧のアンバランスが印象的



44 栗橋宿内の旧日光街道 カスリーン台風の浸水深さ
3m近く 背丈以上に恐怖で震える



47 赤い帽子と涎かけの地蔵尊 周りには奉納された焙烙群 関所破りの重罪人を火あぶりに処したというも事実を証明する記録はまだ発見できないようだ



46 ようやく宿外れの焙烙（ほうろく）地蔵にたどりけり



49 深廣寺の六角名号大法塔 21 基が林立 伊豆大島産玄武岩を使用 承応 3 年～明暦 2 年のもの 20 基と明和 3 年のもの 1 基 宿開発者であり寺の開基者 並木五郎平と時の住職が念仏一行により 民衆教化に努めるために建立を祈願したという



48 栗橋八福神 深廣寺 ゆっくり中をご覧ください



51 左側は円空仏 その右側は関所の道具類 敵めしいですね



50 加藤大政さんの私設展示場「吹禪堂」に到着 どんなお室がみられるか楽しみだ

54 栗橋関所図 これも詳細な所まで描いたものでじっくり拝見できた



53 天保 14 年の船橋図 51 艘の高瀬舟をつないでこしらえたという見事な絵図



52 静女の舞姿 100 年以上所在不明だったが古物商から見つけたという



55 56 お昼は「日本海庄や」で全員同じメニューの昼定食でした



57 国交省の利根川上流河川事務所にやってきました



58 ビデオを見ながらの説明は物足りなかった



← 61 河川史研究倶楽部部長の
秦野さんの挨拶で解散
↑ 60 静御前の墓所で記念撮影



59 栗橋の名物をおみやげに買って帰ろう